

第 4 回 館山市議会定例会会議録
(第 4 号)

1 平成9年12月22日（月曜日）午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 25名

| | | | |
|-----|---------|-----|---------|
| 1番 | 辻 田 実 | 2番 | 本 橋 亮 一 |
| 3番 | 三 上 英 男 | 4番 | 小 幡 一 宏 |
| 5番 | 忍 足 利 彦 | 6番 | 鈴 木 順 子 |
| 7番 | 斉 藤 実 | 8番 | 増 田 基 彦 |
| 9番 | 島 田 保 | 10番 | 宮 沢 治 海 |
| 11番 | 秋 山 光 章 | 12番 | 植 木 馨 |
| 13番 | 脇 田 安 保 | 14番 | 永 井 龍 平 |
| 15番 | 山 崎 雅 己 | 16番 | 鈴 木 忠 夫 |
| 17番 | 岩 村 勝 弘 | 18番 | 日 下 君 敏 |
| 19番 | 川 名 正 二 | 20番 | 神 田 守 隆 |
| 21番 | 山 中 金治郎 | 22番 | 榎 本 春 光 |
| 23番 | 石 井 昌 治 | 24番 | 福 原 勤 |
| 25番 | 飯 田 義 男 | | |

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

| | | | |
|---------------------------|---------|-----------------|-----------|
| 市 長 | 庄 司 厚 | 助 役 | 小 幡 清 之 |
| 収 入 役 | 永 野 修 | 企 画 部 長 | 寺 嶋 清 |
| 総 務 部 長 | 鈴 木 完 二 | 市 民 福 祉 部 長 | 渡 辺 富 雄 |
| 経 済 環 境 部 長 | 小 沼 晃 | 建 設 部 長 | 鈴 木 信 一 |
| 水 道 課 長 | 鈴 木 基 博 | 教 育 委 員 会 長 | 田 村 悦 智 子 |
| 教 育 委 員 会 長 | 高 橋 博 夫 | 選 挙 管 理 委 員 会 長 | 金 子 光 男 |
| 選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 書 記 長 | 大 山 了 一 | 監 査 委 員 | 山 田 教 和 |
| 監 査 事 務 局 長 | 福 田 英 雄 | 農 業 委 員 会 会 長 | 斉 藤 明 |
| 農 業 委 員 会 長 | 木 高 松 雄 | | |

1 出席事務局職員

| | | | |
|---------|---------|-------------|-------|
| 事 務 局 長 | 兵 藤 恭 一 | 事 務 局 長 補 佐 | 鈴 木 哲 |
|---------|---------|-------------|-------|

書 記 四ノ宮 朗
書 記 加藤 浩一

書 記 鈴木 達也
書 記 松 浮 郁 夏

1 議事日程（第4号）

平成9年12月22日午前10時開議

- 日程第1 { 議案第55号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部
を改正する条例の制定について
議案第56号 館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正
する条例の制定について
議案第57号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について
議案第58号 館山市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定につ
いて
議案第61号 平成9年度館山市一般会計補正予算（第4号）
- 日程第2 { 議案第59号 館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の制定について
議案第60号 館山市下水道条例の一部を改正する条例の制定について
議案第62号 平成9年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第3 請願第7号 稲村城跡保存に関する請願書
- 日程第4 継続審査について
- 日程第5 { 議案第63号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について
議案第64号 平成9年度館山市一般会計補正予算（第5号）
議案第65号 平成9年度館山市ユースホステル特別会計補正予算（第1号）
議案第66号 平成9年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第2号）
議案第67号 平成9年度館山市水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第6 議案第68号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 日程第7 発議案第10号 道路事業の促進に関する意見書について

開 議 午前10時25分

◎議長（石井昌治君） 本日の出席議員数25名、これより第4回市議会定例会第4日目の会議を
開きます。

議案の配付

◎議長（石井昌治君） 議案を配付いたします。

議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎議長（石井昌治君） 日程第1、議案第55号乃至議案第58号及び議案第61号の各議案を一括して議題といたします。

総務委員会委員長報告

◎議長（石井昌治君） ただいま議題となりました各議案は、12月16日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより総務委員会における審査の概要につき、委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長神田守隆君。御登壇願います。

（総務委員会委員長神田守隆君登壇）

◎総務委員会委員長（神田守隆君） ただいま議題となりました議案第55号乃至議案第58号及び議案第61号に係る総務委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る12月16日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、17日委員会を招集し、審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

まず、議案第57号館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定についてであります。今回見直しをされている特殊勤務手当のうち、税務手当について説明を求めましたところ、支給を受ける者の範囲のうち、市税の賦課または徴収事務に従事する職員を廃止、外勤する職員については範囲の縮小と用語の明確化を図ったとの説明がありました。

さらに、他の手当との比較並びに県下の支給状況について説明を求めるとともに、年々市税の収入未済がふえている中での税務手当の見直しについて論議がされました。

次に、給与からの控除の関係について説明を求めましたところ、特に内容については現在控除しているものと変更はないが、地方公務員法に基づき、できるだけ詳細に定めたとの説明がありました。

次に、議案第61号平成9年度館山市一般会計補正予算（第4号）であります。防災行政無線整備事業について地方債の補正がされていますが、市全域をカバーするような防災行政無線設置の計画について説明を求めましたところ、現在津波対策のために海岸線を中心に子局が57局あるが、今後全地域に対応できるよう50局を年次的に整備をしていく計画で、本年度10局を設置するとの説明がありました。

次に、館山駅西口地区土地区画整理事業について増額補正されていますが、土地区画整理事業

の進捗状況について説明を求めましたところ、移転の必要な建物は89棟あり、今回補正をお願いしているものが予定どおり契約できると86棟、96.6%の進捗率になる。さらに、交通広場、都市計画道路渚線については、権利者の合意形成は終わっているの、橋上駅舎の供用開始時期に合わせ、工事を完了させたいと考えている旨答弁がありました。

次に、関連してウエルネスリゾートパーク計画用地の買収単価について、時期を区切って鑑定し直すことが必要ではないかとの指摘に対しまして、今後の参考にしていくとの答弁がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第55号乃至議案第58号及び議案第61号については、いずれも全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

なお、この際、閉会中に実施しました行政視察について御報告いたします。

本委員会は、10月6日から8日まで長野県岡谷市及び更埴市を視察いたしました。

岡谷市では、総合行政情報システム、市組織機構の弾力的運営について視察を行いました。

更埴市では、情報公開制度について、また市史の編さんについて視察を行ってまいりました。

以上、御報告申し上げまして、総務委員会委員長報告を終わります。

◎議長（石井昌治君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（石井昌治君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

討 論

◎議長（石井昌治君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

採 決

◎議長（石井昌治君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、各議案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（石井昌治君） 日程第2、議案第59号、議案第60号及び議案第62号の各議案を一括して議題といたします。

建設経済委員会委員長報告

◎議長（石井昌治君） ただいま議題となりました各議案は、12月16日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより建設経済委員会における審査の概要につき、委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長島田 保君。御登壇願います。

（建設経済委員会委員長島田 保君登壇）

◎建設経済委員会委員長（島田 保君） ただいま議題となりました議案第59号、議案第60号及び議案第62号に係る建設経済委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る12月16日の本会議におきまして本委員会に付託されました各議案につきまして、同日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、その質疑応答等、主なものについて申し上げます。

議案第59号館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の制定についてであります。入居基準について説明を求めたところ、これまで2種住宅に関しては月額11万5,000円以下の者が入居対象となっていたが、今回の改正により一般で20万以下となったので、大分緩和されたとの説明がありました。また、入居後収入が上がった場合の家賃の決定方法について質問したところ、収入区分に応じて家賃を決定するが、その収入別に8段階の家賃を設定していくとの答弁がありました。

議案第60号館山市下水道条例の一部を改正する条例の制定についてであります。今回の条例改正の趣旨、指定工事店の数について説明を求めたところ、条例改正の趣旨に関しては平成7年3月の閣議決定された規制緩和推進計画に基づき、建設省から指定工事店制度の運用に当たり、競争性、透明性が確保されるよう通達があり、指定工事店の要件である排水設備工事の責任技術者に関する認定試験及びその登録事務について、千葉県内で統一実施することになったため、下水道条例を改正するものである。また、現在館山市において指定されている工事店については、安房郡市内で91業者であると説明がありました。

さらに、排水設備工事の質疑に関連して、委員から指定店においても積極的にPRするよう指導されたいとの要望がありました。

議案第62号平成9年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第1号）についてであります。

工事委託料が 500万円減額となっているが、終末処理場建設工事に影響はないのか。また、物件等補償費の内容について説明を求めたところ、処理場建設は平成 9 年度、10 年度にまたがる債務で発注されており、国庫補助の内示変更により工事委託費が 500万円減額となるが、10 年度においては、その分ふえることになり、建設工事そのものは変わるものではない。また、物件等補償費の関係については、国道 410 号線の千葉銀行前から白浜に向かう通りであり、ことし幹線管渠の工事を行っているが、その工事に伴い水道管の移設に不足が生じたためであるとの説明がありました。

採決の結果、付託された各議案につきましては、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

なお、この際、閉会中実施した行政視察について御報告いたします。

本委員会は、10月14日から16日まで兵庫県洲本市及び徳島県鳴門市を視察しました。

洲本市では、明石海峡大橋に伴う地域振興施策について、ポートターミナルビルの概要について視察を行いました。

鳴門市では、同じく明石海峡大橋に伴う地域振興施策について、鳴門地域地場産業振興センターの概要について視察を行いました。

以上、御報告申し上げまして、建設経済委員会委員長報告を終わります。

◎議長（石井昌治君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（石井昌治君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

討 論

◎議長（石井昌治君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

採 決

◎議長（石井昌治君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(石井昌治君) 御異議なしと認めます。よって、各議案は原案どおり可決されました。

請願書の上程

◎議長(石井昌治君) 日程第3、請願第7号稲村城跡保存に関する請願書を議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

◎議長(石井昌治君) ただいま議題となりました請願書は、文教民生委員会に付託され、継続審査とされていたものであります。

よって、これより文教民生委員会における審査の概要につき、委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長宮沢治海君。御登壇願います。

(文教民生委員会委員長宮沢治海君登壇)

◎文教民生委員会委員長(宮沢治海君) ただいま議題となりました請願第7号稲村城跡保存に関する請願書につきまして、文教民生委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

本請願は、平成8年6月議会において本委員会に付託され、その後継続審査となっていたものであります。この間、市当局より説明を求めるとともに、2度にわたり現地調査を行ったほか、酒々井町に本佐倉城跡史跡指定の経過等について視察を行いました。また、協議会を開催し、請願者からの説明も聴取するなど、審査の参考といたしました。

審査に当たっては、工業団地進入路の用地買収と地元との協議について、文化財の取り扱いについて、さらに県との文化財保護法に基づく協議について、地元の意向についてなど多方面にわたって市及び教育委員会から説明を求め、状況の把握に努めてまいりました。

しかしながら、既に御承知のとおり、工業団地の進入路について、さきの全員協議会において地元の要望があり、稲村城跡に係る一部区域についてルートを見直すことが明らかにされたところであります。

このような状況の変化を受け、12月18日に招集した委員会において、再度工業団地進入路の現状等について説明を求めました。説明を求めた後、採決するに至りました。

討論において、この請願の採択に賛成するが、現在行われている工業団地の進入路の問題は緊急焦眉の重要な問題であり、早期に実現する方向で進められたい。また、今後の調査等において、地域住民とのコミュニケーションを十分図っていただきたいとの意見がありました。

さらに、里見氏の歴史についてきちんと後世に伝えていかなければならない。今後市において調査研究を進めてほしいと考える。しかし、その際地元の協力は前提となるので、市と地元と市

民が一体となって事業に取り組むことを願うとの意見がありました。

採決の結果、付託を受けました本請願につきましては、全員一致をもって採択すべきものと決しました。

なお、本委員会として次のとおり意見をつけることに決しましたので、申し上げます。

1つ、現在進めている工業団地計画については、早期実現に努めること。

1つ、今後の施策を進めるに当たっては、地域住民、関係者の意向を十分配慮することの2点であります。

以上が請願に関する審査の概要であります。

なお、この際、閉会中実施しました行政視察について御報告申し上げます。

本委員会は、8月26日から28日まで島根県益田市及び鳥取県倉吉市に視察を行いました。

益田市では、歴史的特性を生かしたまちづくりについて、老人保健施設について、倉吉市では文化遺産の活用について、コミュニティ施設について視察を行いました。

以上、御報告申し上げまして、文教民生委員会委員長報告を終わります。

◎議長（石井昌治君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（石井昌治君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

討 論

◎議長（石井昌治君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

採 決

◎議長（石井昌治君） これより採決いたします。

本請願についての委員長の報告は採択するであります。

本請願を委員長の報告どおり採択することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、本請願は採択することに決定しました。

継続審査について

◎議長（石井昌治君） 日程第4、請願の継続審査についてお諮りいたします。

文教民生委員会に付託中の請願第15号国民年金等年金制度の改善に関する請願書及び請願第21号「サッカーくじ法案」（スポーツ振興投票実施等に関する法律案）をやめ、スポーツ予算の大幅な増額を国に求める意見書提出についての請願書について、委員長から閉会中の継続審査とされたいとの申し出がありました。各請願を継続審査とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、各請願は継続審査とすることに決定しました。

議案の上程

◎議長（石井昌治君） 日程第5、議案第63号乃至議案第67号の各議案を一括して議題といたします。

議案の朗読は省略いたします。

議案の内容説明

◎議長（石井昌治君） 議案の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 提案理由を御説明申し上げます。

議案第63号館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、本年8月の人事院勧告及び10月の千葉県人事委員会の勧告に基づき、館山市におきましても、一般職の給料、諸手当につきまして、国及び千葉県に準じ、その額を改定しようとするものでございます。実施時期といたしましては、行政職給料表の8級である職員につきましては平成10年4月1日から、その他の一般職につきましては本年4月1日にさかのぼって行おうとするものでございます。

次に、議案第64号平成9年度館山市一般会計補正予算（第5号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ9,445万4,000円を追加し、総額157億4,822万1,000円としようとするものでございます。

歳出の内容といたしましては、給与改定等に伴い、各款における人件費及び下水道事業特別会計繰出金の補正をお願いするものでございます。

これらの財源といたしまして、前年度繰越金をもって充当しようとするものでございます。

次に、議案第65号平成9年度館山市ユースホステル特別会計補正予算（第1号）でございますが、給与改定に伴う人件費で15万円を追加しようとするものでございます。

次に、議案第66号平成9年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第2号）でございますが、給与改定等に伴う人件費で161万5,000円を追加しようとするものでございます。

次に、議案第67号平成9年度館山市水道事業特別会計補正予算（第1号）でございますが、給与改定等に伴う人件費で、収益的支出におきまして543万3,000円、資本的支出におきまして108万9,000円を追加しようとするものでございます。

よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

以上でございます。

◎議長（石井昌治君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（石井昌治君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

委員会付託の省略

◎議長（石井昌治君） お諮りいたします。

各議案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、決定しました。

討 論

◎議長（石井昌治君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

採 決

◎議長（石井昌治君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

各議案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、各議案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（石井昌治君） 日程第6、議案第68号人権擁護委員候補者の推薦についてを議題といた

します。

議案の朗読を願います。

(書記朗読)

◎議長(石井昌治君) 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長(石井昌治君) 議案の説明を求めます。

庄司市長。

(市長庄司 厚君登壇)

◎市長(庄司 厚君) 議案第68号人権擁護委員候補者の推薦について、提案理由を御説明申し上げます。

平成10年1月14日をもって任期満了となります人権擁護委員1名につき、人権擁護委員法第6条第3項の規定により候補者の推薦を求められておりますので、新たに嵐中隆司さんを適任と考え、御推薦申し上げたいと存じます。

御賛同を賜りますようお願い申し上げます。

◎議長(石井昌治君) 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長(石井昌治君) これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

委員会付託の省略

◎議長(石井昌治君) お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(石井昌治君) 御異議なしと認めます。よって、決定しました。

討 論

◎議長(石井昌治君) これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

採 決

◎議長（石井昌治君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（石井昌治君） 日程第7、発議案第10号道路事業の促進に関する意見書についてを議題といたします。

議案の朗読は省略いたします。

議案の内容説明

◎議長（石井昌治君） 議案の説明を求めます。

9番島田 保君。

（9番議員島田 保君登壇）

◎9番（島田 保君） 発議案第10号道路事業の促進に関する意見書について提案理由を御説明申し上げます。

御承知のとおり、12月18日東京湾アクアラインが開通しました。交通量の増大に伴い、周辺関連道路の整備はますます重要度を増してまいりました。この際、全県的な運動の一環として、道路財源の確保と当地域に通ずる主要道路の早期整備を関係機関に要請いたしたく、7名の賛成者を得まして本案を提出した次第でございます。

満場の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（石井昌治君） 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長（石井昌治君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終わります。

委員会付託の省略

◎議長（石井昌治君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、決定しました。

討 論

◎議長（石井昌治君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終わります。

採 決

◎議長（石井昌治君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

閉 会 午前10時56分

◎議長（石井昌治君） 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第4回市議会定例会を閉会いたします。

◎本日の会議に付した事件

- 1 議案第55号乃至議案第68号
- 1 請願第7号
- 1 継続審査について（請願第15号、請願第21号）
- 1 発議案第10号

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長

館山市議会副議長

館山市議会議員

館山市議会議員

